



Vol.7



日の出の儀式 (Sunrise Ceremony)

マウント・プレザント市に自治区がある先住民族、サギノー・チップワ・インディアン・トライブには、聖なる薬草（セージ、スイートグラス、杉、タバコ）をくべた聖なる火のもとで、聖なるパイプ・鷲の羽などを使って、伝統的な朝の祈りを行う習慣があります。

平成14年（2002年）、サギノー・チップワ・インディアン・トライブのジョー・ソーミックさんらが岡谷市を訪れ、日本で初めて、諏訪湖のほとりで、4日間絶やすことなく聖なる火を燃やし続ける聖なる火の儀式と、この火のもとでの日の出の儀式が行われました。

Members of The Saginaw Chippewa Indian Tribe, a sovereign tribal nation from the Mount Pleasant area, that visited Okaya in 2002 held "Sunrise Ceremonies" on the shore of Lake Suwa-- the first of its kind to be held in Japan.

At each ceremony a fire was lit using herbs and tools sacred to the tribe. Morning prayer was then conducted around the fire.

また、姉妹都市提携40周年にあたる平成17年（2005年）、ジョー・ソーミックさんのプロデュースにより、諏訪湖畔で、再び日の出の儀式が行われました。

In 2007, Joe Soumick, a member of the tribe, organized a Sunrise Ceremony held on the shore of Lake Suwa.



(H17.8月 日の出の儀式)



(ジョー・ソーミックさん)



この事業は、宝くじの社会貢献広報事業である「コミュニティ助成事業」の助成を受けています。

これが、日本で初めての日の出の儀式だったことを記念して、マウント・プレゼン
ト フレンドシップ・ゾーンに記念碑が設置されています。

It was the first time such ceremonies were held in Japan.



(日の出の儀式の記念碑)



この事業は、宝くじの社会貢献広報事業である「コミュニティ助成事業」の助成を受けています。